

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **△警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **△注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



やけど、漏水をした場合の処置

やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

漏水した場合は元栓、または止水栓を開めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。

そして専門の業者に修理を依頼してください。



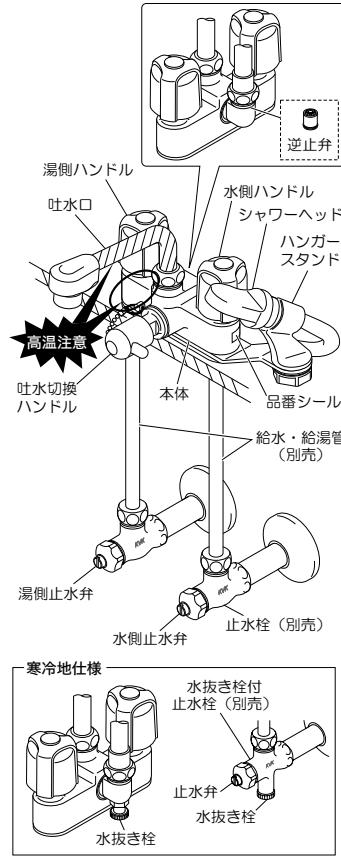
1ページ

ご使用の前に / ご使用方法

△ 給湯機の使用上の注意

・給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。

各部の名称



ご使用方法

1.湯水の出し方

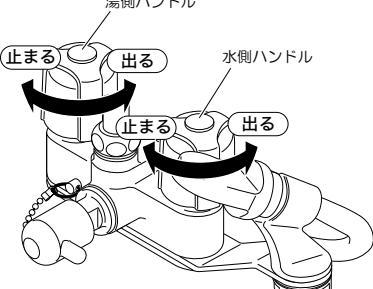
水側ハンドルで水を出してから、湯側ハンドルで徐々に湯を出してください。

2.湯水の止め方

湯側ハンドルで湯を止めてから、水側ハンドルで水を止めてください。

△ 警告

湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

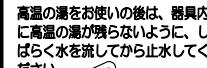


△ 警告

お使いになる前に、吐水口側がシャワー側か吐水切換ハンドルで確認してから湯をお使いください。



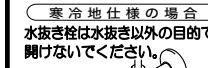
湯水を出すときは、必ず水側のハンドルから開いた後、徐々に湯側のハンドルを開いて湯温を調節してください。



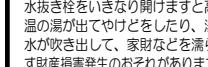
シャワー使用後は、吐水切換ハンドルを必ず吐水側に切換えてください。



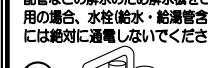
吐水切換ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出す、やけどをするおそれがあります。



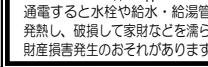
寒冷地仕様の場合
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。



水抜き栓をいきなり開けますと高溫の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



配管などの解水のため解水栓をご使用の場合、水栓(給水・給湯栓含む)には絶対に通電しないでください。



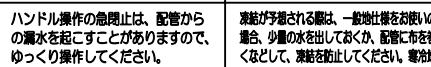
通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

△ 注意

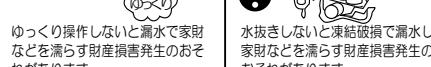
湯水を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。



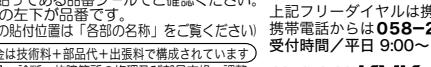
次に使用する時、器具内に滞留した高溫の湯が出てやけどをするおそれがあります。



器具に乗ったり、よりかかたりして無理な力を加えないでください。吐水口直撃で重いものを下したり、力をかけて回さないでください。



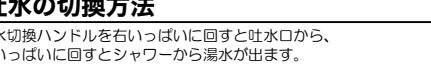
器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



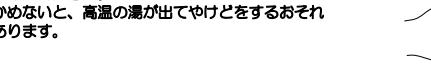
ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起すことがありますので、ゆっくり操作してください。



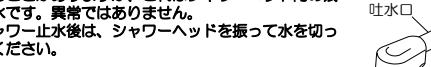
ゆっくり操作しないと漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。



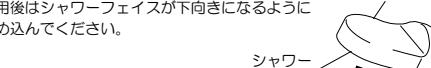
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。



(シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください)



修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています。



技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換、調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代…修理に使用した部品代
出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

2ページ

吐水の切換方法

吐水切換ハンドルを右いっぱいに回すと吐水口から、左いっぱいに回すとシャワーから湯水が出ます。

△ 警告

湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。

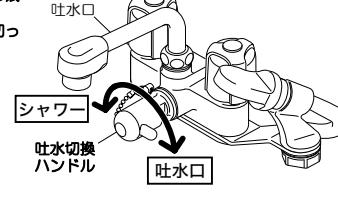
確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



【止水直後の水滴について】

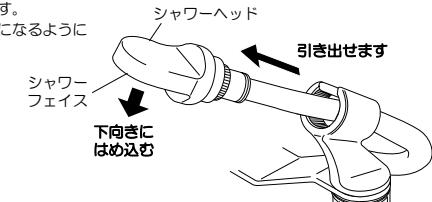
シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがあります。これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。

シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



シャワーへの使用方法

シャワーへの使用方法は引き出して使えます。使用後はシャワーフェイスが下向きになるようにはめ込んでください。



△ 注意

シャワーへの使用方法は引き出して使えます。使用後はシャワーフェイスが下向きになるようにはめ込んでください。



水抜き方法<凍結が予想される場合>

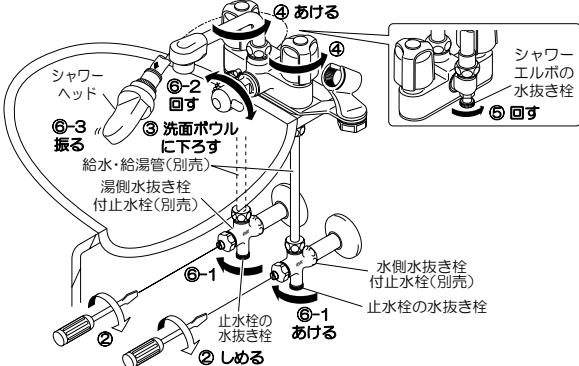
【△ 注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。
怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地仕様水栓の場合

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操作
①	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作) 湯水の止水栓の止水弁(2ヶ所)を締めます。
②	③	シャワーヘッドを洗面ボウルに下ろします。
③	④	湯、水のハンドルを開けます。
④	⑤	本体背面のシャワーエルボの水抜き栓を右に回します。
⑤	⑥	湯水の止水栓の水抜き栓を開け、吐水切換ハンドルを吐水口側にして水を抜き、シャワー側にしてシャワーヘッドを振って中の水を抜きます。
⑥	⑥	

△ 警告

- 湯側の止水栓の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。
- 解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。
- 通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】必ず水抜き栓がしまっていることを確認して湯、水のハンドルをしめて(止水状態)から通水してください。
通水を再開しても水が出ない場合……湯、水のハンドルを開けて(吐水状態)、しばらくお待ちください。
これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。
異常ではありません。

一般地仕様水栓の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。
・水栓より少量の水を出しておきます。・配管部などに布を巻きます。

△ 警告

- 解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。
- 通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

5ページ

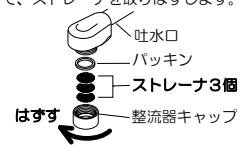
日常のお手入れ・保守

ストレーナ・シャワーフェイスの清掃方法

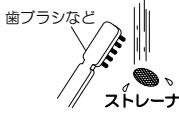
吐水口のストレーナや、シャワーヘッドのシャワーフェイスにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

吐水口のストレーナ清掃

- ① 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。



- ② ストレーナをブラシで水洗いします。

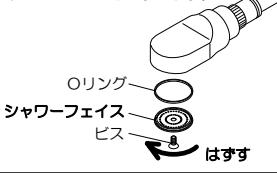


清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

シャワーヘッドのシャワーフェイス清掃

- ① ビスをはずします。

- ② シャワーフェイスをはずします。



- ③ シャワーフェイスをブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

お手入れ方法

【難い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗い

してから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬる湯までうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取って

から、乾いた布でから拭きします。

【使ってはいけないもの】

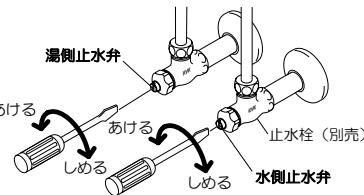
水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カブリリ剤・酸素・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

流量の調節方法(止水栓は本製品に同梱されていません。別売です)

流量の調節は右記の方法で行ってください。



図は一般地仕様です

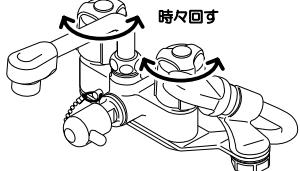
6ページ

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

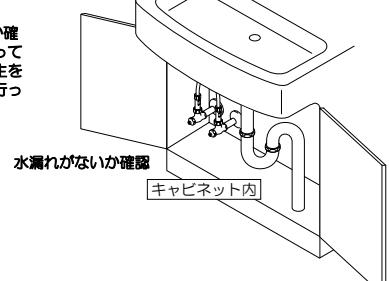
湯、水ハンドルの操作性

時々湯、水ハンドルをいっぱいに回してください。
湯、水ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水機能が損なわれるおそれがあります。



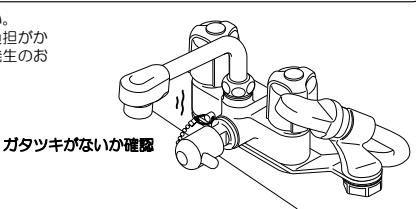
配管まわりの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

【△ 注意】
配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを漏らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。



水栓のガタツキ(1ヶ月に1回程度)

水栓のガタツキがないか確認してください。
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	使用年数
お客様による日常のお手入れ・点検												

取付日

お客様による日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換(こまパッキン等)

買い替え ご検討

磨耗劣化部品の交換

部品の交換

部品が磨耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

・磨耗・劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)

例) カートリッジ・シャワーヘッド・シャワーホース・逆止弁等

【△ 注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

(逆止弁の位置は「各部の名称」をご覗ください。逆止弁は逆止弁により買っていないものがあります)

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

故障かなと思ったら…

次ののような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
●			
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	吐水切換ハンドルをいっぱいまで回す	4ページ 「吐水切換方法」
●			
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
●			
吐水量が少ない	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等がつまっていますか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	6ページ 「ストレーナ・シャワーフェイス清掃」
●			
高温しか出ない	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
●			
低温しか出ない	ストレーナ・シャワーフェイスは凍っていますか	ストレーナ・シャワーフェイスにぬる湯をかける	—
●			
温度調整がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「流量の調節方法」
●			
吐水が飛び散る	ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等がつまっていますか	ストレーナ・シャワーフェイスを清掃する	6ページ 「ストレーナ・シャワーフェイス清掃」

7ページ

8ページ